



東京理科大学校友会(理窓会)会報

TUS ALUMNI
JOURNAL

2018
9
No.498



神楽坂キャンパス 昼も夜も学び舎として



東京理科大学

ホームカミングデー2018
in 神楽坂キャンパス
10月28日(日) 12:00~17:00
神楽坂で会いましょう!

Contents

- | | |
|--------------------|----------------|
| 2 「世界の理科大」実現に向けてー | 13 卒業生だより |
| 4 平成30年度理窓会代議員総会報告 | 16 理科大の研究室紹介 |
| 6 ホームカミングデー2018 | 18 大学トピックス |
| 7 関連団体・諸会だより | 22 理窓会トピックス |
| 10 支部だより | 23 理科大のルーツを求めて |



本山和夫東京理科大学理事長
2018年6月24日(日) 神楽坂1号館17階記念講堂にて

学校法人東京理科大学理事長の本山でございます。本日は、理窓会代議員総会にお招きいただき、ありがとうございます。代議員総会の中で、大学の現状についてお話しさせていただく機会をいただき、大変ありがたく思います。また理窓会の皆様におかれては、日頃から母校東京理科大学に対し、多大なご支援をいただき、誠にありがとうございます。高い席で恐縮ですが、重ねて御礼申し上げます。本日は、本学の現状と題し、大学の近況と課題、また「世界の理科大」実現に向けた施策の概要についてご紹介いたします。

1. はじめに

日本における大学を取巻く課題につきましては、本年の新年茶話会にてお話ししました。本年は、2018年問題といわれ、ここ数年は120万人で推移していた18歳人口が、本年から再び減少し2030年には100万人を切るという状況が取り上げられています。既に私学は4割が定員割れし、私学経営そのものを見直さなければならない状況が想起されるようになりました。

そういった中、本学の一般入試の志願者総数は56,566人と、昨年度よりも3,000人以上増加しております。これは、東京理科大学史上、最多となる水準となりました。また、最近、志願者数の水増しから実志願者をクローズアップして見る傾向にあります。本年の実志願者は29,189名と前年より1,000名以上増加しております。実志願者数ベースでは、志願者総数15万人で全私学中トップの近畿大学とほぼ同数の方に受験いただいている状況です。

入試改革に加え、かねてより取り組んでまいりました、本学のブランド価値向上のための一連の施策と、教職員の教育力、研究力向上のための日常の努力、後ほどご紹介いたします学生諸君の日頃の勉学の成果が就職力にも表れ、それが結果として受験者増につながっているものと思われまます。

本年、学部を卒業した学生では、約97%という高い進路決定率を誇っております。本学は大学院進学率が非常に高く、例年約半数が大学院に進学しております。また、特長として、公務員と教員への就職が大変多くなっております。公務員は84人で、国家公務員採用総合職試験合格者は私立大学で4位の実績です。また、教員就職者は96人。こちらは高校教員採用者としては8位となっております。就職先としても、著名な優良企業に就職しております。

理窓会代議員総会 東京理科大学理事長挨拶

「世界の理科大」実現に向けて

2. 「TUS Vision 150」について …世界の理科大に向けた取り組み

このように、本学は社会から高い評価をいただいておりますが、18歳人口の減少を始めとする本学を取り巻く課題に対応し、さらに「世界の理科大」を実現すべく、昨年「TUS Vision 150」を策定いたしました。本Visionでは、創立150周年を迎える2031年を見据えつつ、今後10年余りの方向性を示すとともに、取り組むべき課題を明確化しています。本日は、このVisionで掲げた課題のうち、「世界の理科大」を、ただのスローガンで終わるのでなく実際の施策として、「国際競争力強化に向けた体制整備」とそれに伴うさらなる研究力の強化、学部再編、キャンパス整備などの進捗についても、お話しさせていただきます。

*国際競争力強化に向けた体制整備

「世界の理科大」実現の重点課題である国際競争力強化については、3年後の2021年度に向けた目標値を設定し、その実現に向けた広報活動の強化、国際学生寮の設置等の施策を実行してまいります。これらの施策により、2021年には、学部入学生の5%となる200名を留学生とすることを目指します。更に、修士・博士課程の学生の国際学会における発表支援を増加させるなどの取り組みを行い、2021年には、現状の1.6倍増となる700件/年の発表を目指します。さらに、若手教員の国際学会派遣支援も、60件を目指します。さらに本学から海外に送り出す学生数については、現状の2倍以上の人数を送り出すことを目標としています。教員の海外派遣の推進、外国人教員の比率向上についても、目標に向かって学長室と取り組みたいと考えます。

*研究力強化の取り組み

前述の国際競争力強化に向けた取り組みは、「世界の理科大」実現のための必要条件です。やはりTHE^(注1)の世界大学ランキングで、少なくとも日本で10位程度でなければ世界で認知されません。世界で認知されてこそ世界の理科大にいられます。

次は、先日の日経新聞で報道された「論文の生産性」に関するランキングです。本学の強みである研究でも世界の150位といったレベルです。研究の理科大といえるレベルにするためには、国内外問わず、優秀な研究者の招聘、戦略分野の絞り込み等の施策が必要であり、学長とともに取り組みたいと考えています。国際共著論文数の増加も必要ですし、優れた研究成果をハイレベルの学術雑誌に掲載し、論文のサイテーション向上を図っていくことも必要です。このような施策一つ一つを実現していくことによって、本学の研究力のさらなる向上が可能となります。

本日、紹介しました国際協力強化への各種の取り組み、さ

らにその実現に向けた学部再編計画等を着実に実行し、3年後の2021年までに「世界の理科大」を現実的な目標として語れるレベルまで引き上げたいと思います。

*キャンパスの再構築、学部再編計画、 キャンパスライフの質的向上

既に、今年2月に、計画の一端を公表させていただいておりますので、ご存知の方も多いかと思いますが、本学は全学的な学部の再編を計画しています。これは、先ほど述べた海外から学びに来る学生の増加に加え、AI、IoT、データサイエンス、ロボティクス、宇宙といった、今後の方向に対応しうる体制整備を行っていく計画です。

全体的な考え方としては、理事会は、TUS Vision 150達成のための課題として、「教育研究理念に基づくグランドデザインの構築」を行い、併せてキャンパスの再構築、学部再編計画、キャンパスライフの質的向上を図ります。

◎葛飾キャンパスには、2025年に薬学部を移転させるほか、基礎工学部を再編・名称変更し、応用物理学科と、新設学科を合わせた5学科体制とします。その際、基礎工学部の長万部利用は解消し、2021年から、葛飾において4年間、更には6年間の一貫教育を行える体制を整えます。

本キャンパスは、前述の再編計画に対応すべく、既に第Ⅱ期用地を購入し、新棟を建設する計画です。

◎続いて、野田キャンパスでは、理工学部の再編を行います。理学部、工学部との同一名称を解消し、社会にアピールする理工学部独自の学科、コースを設置する計画です。

本キャンパスについては、昨年、理工学部50周年記念事業として開始しました第1期再構築工事で新7号館及び学生実験棟の新築工事を実施しています。

◎神楽坂キャンパスにおいては、理学部の一部学科で再編を行うほか、経営学部にも新学科、もしくは新コースを設置する計画です。

また建築学科等の研究室と併用する形で、神楽坂キャンパス初の学生寮として、「TUSドミトリー-I」を開設しました。ドミトリー-Iは神楽坂キャンパスのすぐ裏にあり、飯田橋駅からも近く、学業にも課外活動にも大変に便利な施設となっております。

◎長万部キャンパスでの教養教育の充実。基礎工学部の教養教育の場から、全人格的教育の場を継続し、さらに国際化を、すなわち語学の軸を加えたキャンパスとして変身する計画です。それは経営学部の学科かコースで国際経営を学ぶ学生の1年時の教養教育として、それと理工学部に留学生向けの国際コースを設置し、日本語での科学教育、物理、化学、生物実験その他の教養科目を履修し、関門をクリアするチカラを付ける教養教育です。

学部・学科の再編計画は、当然、普遍的なものは継続して、社会の要請に応えるべきものは変革するという方針の

もと策定し、150周年、200周年を視野に入れ、大学のさらなる飛躍につなげてまいりたいと思います。

具体的な計画立案に際しては、学部・学科の再編計画とセットで校舎の建設計画、併せて財務に過度の負担のかからない投資計画をまとめており、概ね10年後までのロードマップを策定しております。

*キャンパスライフの質的向上のために

学生への支援も欠かせません。そこで本学では、新年茶話会でもお伝えしたとおり、2018年度入学生より、二つの新しい給付型の奨学金制度を創設しました。

「新生のいぶき奨学金」は優秀な学生に対して経済的支援を行うことを目的とした制度です。「乾坤の真理奨学金」は入学試験の成績が特に優秀である学生に対して、学業の伸長を奨励することを目的とした制度になります。

*リカレント教育の充実

最後に、リカレント教育の充実についてご紹介します。政府の進める「人生100年時代」においても、「絶えず学び直しを通じたアップデートや新たなスキルの獲得が必要不可欠」とされていることを受け、従来の生涯学習センターを「社会人教育センター」として改組し、センターの下に「TUSオープンカレッジ」を設立しました。「オープンカレッジ」では、社会人として有用な知識や技術をアップデート、またブラッシュアップできる教育の場を提供します。

また、社会人を対象とした編入学制夜間主コースの設置を予定しています。具体的には、工学部建築学科に、社会人を対象とした編入学制の夜間主コース枠(20名)を設置します。工学部は葛飾キャンパスにありますが、社会人が履修しやすいよう、講義は神楽坂で行います。次に、履修単位数課金制を導入した社会人対象コースの設置(理学部第二部)等を計画しています。理学部第二部は夜間部ですが大学院進学率が26.7%、昼間部と遜色ない充実した教育を実施しています。しかしながら働きながら学ぶ社会人が多いという学部の特性に対応するため、履修単位数課金制を導入することで、卒業までに必要な授業料は一定となりますので、仕事の状況に左右されることなく、社会人として安心して学ぶことができる環境を形成します。

3. 最後に

このように、これからも改革の手を弛めることなく、TUS Vision 150のテーマである「世界の理科大」実現に向けて段階を踏んで努力してまいりますので、理窓会の皆様におかれても、母校東京理科大学のさらなる発展のため、ご理解をいただくと共に、引き続きご支援賜りますよう、よろしく願いたします。

ご清聴ありがとうございました。 以上

注1) THE WORLD UNIVERSITY RANKINGS 2017-18) こちらは、昨年、発表された世界大学ランキングTHE(Times Higher Education)評価の内訳です。当然、大学の活動は、ランキングの向上を目的とするものではありません。あくまで、評価指標として考えています。お伝えしたいのは、世界の理科大をうたうためには、「国際」の部分の増強だけでは達成できないということです。論文の被引用数、留学生数、外国人教員数等は、いずれも「世界の理科大」実現に際し必要な指標です。

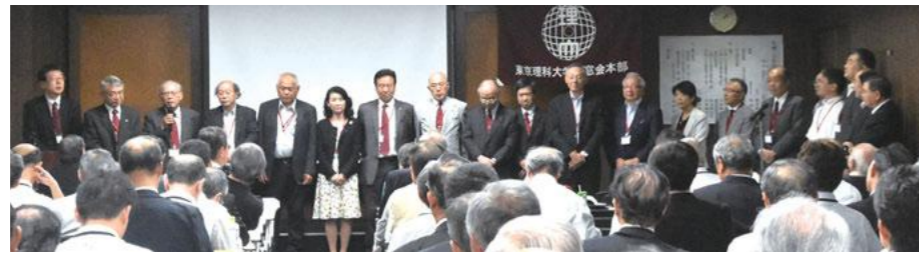
平成30年度 理窓会代議員総会報告



理窓会代議員総会が6月24日(日)13時より15時まで、午前中の支部長会に続いて神楽坂校舎1号館17階記念講堂で開催された。(代議員総数210名、委任状を含む出席者194名)

増淵忠行理窓会会長

冒頭増淵忠行新会長からの挨拶に続いて新副会長、常務委員、監査委員がそれぞれ自己紹介された。来賓挨拶では東京理科大学本山和夫理事長から東京理科大学の長期ビジョン「TUS Vision 150」について熱のこもった、力強い説明があった。(その要旨は本誌2、3頁をご覧ください)



新役員の紹介

会長の所信表明の中で予算面での課題解決の一助として「ホームカミングデーや会報発行費用の削減」などに触れられた。また、支部長会で協議したが「個人情報管理」を強化することなどが述べられた。

平成29年度の事業報告・決算報告、平成30年度の事業計画・予算については原案通り承認された。報告事項としてHCD2018、坊っちゃん科学賞論文コンテスト、維持拡充資金について説明があり、終了した。



平成30年度 支部長会報告



部の個人情報データを支部に提供する」との提案が行われた。各支部から支部員の名簿等で個人情報の取り扱い状況や、管理の仕方について様々な発言があり、一括管理の難しさが指摘された。「いただいた情報をもとに新たな取り組み方を理窓会本部から発信することで、会が閉じられた。

話し合いの中で「個人情報保護」の重要性の認識が深まり、今後の取り組みの必要性が認識され、有意義な会となった。

話し合いの中で「個人情報保護」の重要性の認識が深まり、今後の取り組みの必要性が認識され、有意義な会となった。



6月24日(日)10時から12時まで神楽坂校舎1号館17階の大会議室で全国の理窓会支部長が一堂に会し、新体制のもとで最初の支部長会が開催された。冒頭増淵忠行新会長が「この4月から石神一郎会長の後任として8代目の会長に就任しました。経験豊富な副会長、常務委員の皆さんとスクラム組んで頑張りますので、宜しくお願いいたします」と挨拶された。

続いて、個人情報保護委員会委員長の佐竹信一理窓会常務委員(東京理科大学教授)が議長になり、「支部活動と個人情報保護」～各支部における個人情報(管理)のありかた～というテーマで話し合いが行われた。

佐竹委員長から「現在各支部が管理している支部員の個人情報を理窓会本部で一括管理し、その都度必要な時、支

平成29年度理窓会会務報告

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

1. 第12回ホームカミングデーの開催
10月29日(日)野田キャンパス
2. 第9回坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト(高校部門)
10月29日(日)野田キャンパス
3. 第14回理窓会会長杯ゴルフコンペ開催11月11日(土)
4. 第109回新年茶話会の開催 1月6日(土)
5. 支部活動の活性化支援
6. 在学生・新卒業生に対する支援
7. 「理窓」の発行 年3回(494号・495号・496号)
8. 平成29年版「理窓会のしおり」作成
9. インターネットの活用
10. 理窓会における顕彰(新年茶話会において)
11. 関連団体との関係強化
12. 理窓会倶楽部の運営
13. こうよう会との連携
14. 学位記・修了証書授与式(卒業式)への参加

平成30年度理窓会事業計画

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

1. 支部長会、代議員総会、同窓懇親会の開催
6月24日(日)、神楽坂キャンパス
2. 常務委員会(年11回)毎月第二火曜日(8月を除く)
3. 正副会長総務委員会(年11回)毎月第一火曜日(8月を除く、1月は第二火曜日)
4. 支部活動の活性化支援
5. インターネットの活用
6. 「理窓」の発行(年3回:5月・9月・1月)
神楽坂キャンパスにて開催
8. 新年茶話会の開催 平成31年1月5日(土)
ホテル・メトロポリタンエドモント
9. 理窓会倶楽部の運営
10. 第10回坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト(高校部門)開催
11. 坊っちゃん賞選出
12. 理窓会関連団体支援
13. 理科大卒業生への再就職対応
14. 理窓会女子委員会の開催
15. 海外理窓会へのフォロー
16. 理窓会選出評議員の補充選挙
17. 在学生に対する支援
18. 15年会費納入者にネクタイ・スカーフの贈呈
19. 会長杯ゴルフコンペの開催11月10日(土)予定
20. こうよう会との連携
21. 学位記・修了証書授与式への参列
22. 公立諏訪東京理科大学3年生へ理窓会費返金

平成29年度決算・平成30年度予算

収入の部	平成29年度決算	平成30年度予算
1. 会費	187,347,000	186,000,000
2. 広告料	15,565,960	7,000,000
3. HCD補助金	4,000,000	4,000,000
4. 編集特別補助金	2,000,000	0
5. 参加費	2,328,000	2,300,000
6. 寄付金	720,000	400,000
7. 利息収入	12,098	10,000
8. 雑収入	101,586	100,000
当期収入合計 [Ⓐ]	212,074,644	199,810,000
支出の部	平成29年度決算	平成30年度予算
1. 会議費	5,724,933	6,000,000
2. 各種行事・委員会費	2,245,108	2,500,000
3. 事業費	134,353,238	104,000,000
(1) 理窓発行費	50,300,308	42,000,000
(2) インターネット諸費	5,982,012	6,000,000
(3) 理窓会PR諸費	285,120	500,000
(4) 事業活動費I	33,604,437	34,000,000
(5) 事業活動費II	44,181,361	21,500,000
4. 選挙費	417,833	500,000
5. 会費返金	20,700	10,000,000
6. 事務費	11,808,694	13,900,000
人件費	7,702,291	8,000,000
交通費	48,440	2,000,000
事務通信費	1,152,370	1,000,000
事務費・印刷費	1,128,998	1,000,000
消耗品費	388,670	500,000
光熱水費	242,609	300,000
雑費	30,588	100,000
振替手数料	1,114,728	1,000,000
7. 負担金	1,503,903	1,700,000
8. 租税公課	696,900	700,000
小計	156,771,309	139,300,000
9. 予納金積立(注)	0	125,000,000
10. 予備費	0	2,000,000
当期支出合計 [Ⓑ]	156,771,309	266,300,000
当期収支差額 ^{Ⓒ=Ⓐ-Ⓑ}	55,303,335	-66,490,000
前期繰越収支差額 [Ⓓ]	36,255,507	91,558,842
次期繰越収支差額 ^{Ⓔ=Ⓒ+Ⓓ}	91,558,842	25,068,842
(注) 在学生納入済15年分会費積立		

詳しい代議員総会の内容につきましては、理窓会ホームページをご覧ください。理窓会事務局にお問い合わせください。ホームページ: <http://tus-alumni.risoukai.tus.ac.jp> 理窓会事務局 Tel:03-3260-0725

ホームカミングデー2018 「かつては理科大生だった!」

—卒業生の皆様— “自ら参加するHCD in 神楽坂～”

10月28日(日) 12:00～17:00に神楽坂で逢いましょう!



【神楽坂キャンパスで開催】

今年のホームカミングデーは神楽坂キャンパスで開催します。神楽坂キャンパスでの開催は第7回(2012年)以来6年ぶりとなります。ホームカミングデーは卒業生の方々に大学の発展の現状を認識して頂くと共に、大学のビジョンや将来計画についてご理解頂く機会であり、社会人としての同窓の方々から大学に期待する要望等のお話をして頂く機会でもあります。ホームカミングデーが全国の卒業生との絆を深め、卒業生と大学との絆を強める役割を果たし、それが大学のより一層の発展に役立つものと思っています。今年は「かつては理科大生だった!」を開催テーマに展開します。どうぞ神楽坂キャンパスに足をお運びください。ご来場お待ちしております。

【HCD実行委員会委員長 矢部 博(理・応数1977)】

【同窓出会の広場】

8号館地下&1階
同窓関連団体の参加で運営されています。飲み物お菓子を無料で準備しています。様子、引野裕亮と東京理科大グリークラブの音楽を楽しみ、歓談しましょう。



【卒業50周年祝賀会ご招待】

10号館 12:30～14:45
昭和43年(1968年)3月卒業の方



【卒業40・30・20・10周年懇親会】

6号館2階624号室 12:30～14:30
昭和53年(1978年)3月卒業の方
昭和63年(1988年)3月卒業の方
平成10年(1998年)3月卒業の方
平成20年(2008年)3月卒業の方

【坊っちゃん科学賞】 研究論文コンテスト

2号館1階211号室 9:00-12:30

(高校部門)全国1900校に呼びかけ、選出された、優秀賞受賞校5校によるコンテスト形式の発表会です。坊っちゃん科学賞だけは、朝9:00から開始されます。



【学長講演】 理窓会主催

松本洋一郎学長

6号館2階623号室
15:00～16:00

東京理科大の
発展に向けて
～理窓会との連携の中で～

【シンポジウム】 東京理科大学理数教育研究センター主催

—国際科学オリンピック—メダリストに学ぶ—

1号館17階 記念講堂 13:00-16:50

世界中の中学生、高校生が科学の難問に挑むコンテストでメダリストになった方より、出場時の回想、経験で得たもの、現在の視座から見たオリンピック出場の意義などを語って頂きます。

【キッズサイエンス・ライブショー】

2号館1階212教室
13:00～16:30



【囲碁と憩いの広場】

3号館4階341号室
12:00～16:30

※他にも多数催し物が予定されております。詳しくは理窓会HPをご覧ください。

理窓ビジネス同友会 ～卒業生21万人のビジネスネットワーク～



会長 山本幸央

弊会は、主に産業界、経済界で活躍する会員相互のネットワークづくり、異業種交流、親睦・啓発を支援する活動を行なっています。これらの活動を通じて、母校の発展に貢献するとともに、在学生や卒業生の更なる活躍を支援しています。

毎月第3火曜日(1・8月は除く)に開催しているビジネス交流懇親会をはじめ、講演会、文化活動などを通じて、様々なキャリア、専門性、活躍の場を持つ会員が相互に交流を図り、ネットワークを拡げています。切磋琢磨する自分磨きの場でもあり、また気楽に親交を温める懇親の場でもあります。弊会が皆さまのビジネスに役立つネットワークづくり、ご自身の成長に貢献できれば幸いです。多くの方のご参加をお待ちしています。



理窓ビジネス同友会主催

特別講演会

日時: 2018年10月28日(日) 13:00～14:30

場所: 東京理科大学
神楽坂キャンパス 6号館 623教室

講師 元谷 美美子 氏
(Aホテルグループ社長)

入場料: 無料

講演会はホームカミングデー 2018 in 神楽坂と同時開催です。最新情報は弊会HPでご確認ください
<http://www.kigyou.risou.net>

国家資格「技術士」を持つ会員を中心に15年目 ～理窓技術士会～

理窓技術士会は、同窓の国家資格「技術士」を持つ会員を中心に発足し、今年で15年目となりました。現在は、科学、技術に関心のある方も入会していただけるよう会則を改訂し、幅広い分野の方が参加できるようにしています。「技術士」という固いイメージで敬遠されがちでしたが、誰でも気軽に参加でき、科学、技術の意見交換ができる場になってきました。最近では大学の先生や学生、同窓の入会申込が続き、毎月会員の増加が楽しみです。すでに100人を超えており今後も、科学、技術に関心ある同窓の方も是非当会に参加していただき、一緒に情報交換や異業種交流、学生支援の場としたいと思います。



総会: ボルタ神楽坂

5月に当会定時総会を開催し、前年度の活動報告や今年度の活動方針を決めています。その活動の一つとして、将来の科学者、技術者となる第一歩として在学生の技術士一次試験合格を支援してまいります。すでに大学の先生と連携してこの事業を始め、今年度の試験は10月実施のため、新学期から活動を始めています。そのほか大学との連携では、キャリア支援講座、こよう会就職説明会への支援など積極的に

行ってまいります。

奇数月定例で行っている技術懇話会も80回を超え、着々と実績を積み重ねています。毎回、各方面でご活躍の講師の先生にお願いして、大変有意義で楽しい講演会となっています。年1回の工場見学会は、今年は11月に銚子の「千葉科学大学」ほか銚子の産業、文化、グルメなどの探訪を計画しているところです。

5月の技術懇話会(特別講演会)は、理窓ビジネス同友



特別講演会: 森戸記念館

会と共催で、藤嶋前学長にご講演をしていただきました。10月の神楽坂キャンパス開催のホームカミングデーにも参加し、同窓のご来場をお待ちします。この機会に積極的にご参加していただき、なかなか昔の仲間には会えない方も当会のコーナーを待ち合わせ場所としてご利用いただければと思います。

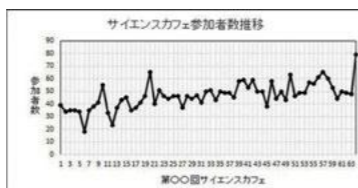
当会は、大学と理窓会及び各関連団体のご協力もあり、今後も皆様と連携を深め、多様な催しを行ってまいります。ホームページ「東京理科大学 理窓技術士会」で、技術懇話会開催等各種情報を掲載していますので、よろしくお願い致します。



参加者数も安定、6年目を迎えた「理窓サイエンスカフェ」

2011年4月に大学会館PORTA神楽坂がオープンし、6階に同窓生の憩いの場である理窓会倶楽部ができました。最初の1年は利用者が少なかったため、倶楽部運営委員会は翌年4月に倶楽部活性化小委員会を立ち上げました。小委員会は、理窓会倶楽部が卒業生の交流、情報収集の場になることを目的として、昼間の時間帯にミニ講演会等の開催を検討しました。色々な案が検討されましたが、手始めに植木キコ子先生が健康講座を毎月1回開催するという案が多数の支持を集め、倶楽部運営委員長に提案し、快諾を得て2012年7月20日に第1回の「PORTA神楽坂講座」と称してミニ講演会が開催されました。健康講座は活動の定着のために4回連続で行われ、聴衆は理大卒業生、活性化小委員会の委員の友人・知人、神楽坂の方などを集め、毎回30数名の参加をいただきました。その後の講師は理窓会会員や神楽坂の方、第10回には藤嶋学長をお願いして

PORTA神楽坂講座は継続して行われました。講演と神楽坂から調達したお茶やお菓子、倶楽部の雰囲気の人気となり、2013年1月の第6回「PORTA神楽坂講座」から「PORTA神楽坂サイエンスカフェ」と改称し現在に至っています。その後も、講師は学内外の著名な諸先生をお招きして参加者のニーズに応えたことから参加者数は安定しており、当初の倶楽部活性化の目的は達成されたものと考えています。スタッフ一同このような活動が出来ることを感謝しております。興味のある方のご参加をお待ちしております。



第47回 NHK 気象キャスター平井信行先生会場

春のハイキング、50名参加 ～関西理窓会連合会

理窓会関西合同・春のハイキングが、“春の武庫川渓谷、廃線跡を歩く”と題して4月21日(土)に行われました。ハイキングコースは、JR武田尾駅～武庫川渓谷沿いに～廃線跡入口～JR生瀬駅(徒歩行程・約7km、4時間程度)です。

今回は、理窓会の山田顧問にもご参加いただき、関西2府4県、福井、三重の理窓会員及び友人、こうよう会会員及び友人等の参加者総数約50名で大盛況でした。晴天に恵まれて非常に暑い中でしたが、旧福知山線の廃線跡の武庫川渓谷沿いのコースを途中何箇所かのトンネル内では懐中電灯を照らしながら賑やかに歩きました。



新緑の素晴らしい景色を堪能しながらの楽しいハイキングで解散後の慰労会も含めて大いに楽しんで頂きました。

I部軟式庭球部OB会1980年前後卒業メンバー久しぶり会+全体役員会

2018年2月17日(土)に神楽坂の「瓢箪坂 美味しんぼ」にて、I部軟式庭球部の1980年前後の卒業メンバーによる久しぶり会を実施いたしました。この会は、還暦を迎えるにあたり2016年に発起し本年で3回目を迎えるに至った会です。

第1回の2016年1月30日(土)には19名、第2回の2017年1月28日(土)は19名の参加を頂き、そして第3回の2018年2月17日(土)には15名が集いました。

そういったメンバーでの話題と言えば、軟式庭球の関東リーグ戦、理工系リーグ戦での戦績や、新潟でのインカレ、あるいは軽井沢での合宿や野田の合宿所でのちょっとした事件のいきさつなどで盛り上がり、大変だったことや物凄く些細なことなどの話をきっかけにあっという間に40年の歳月が埋まり、とても楽しいひと時を過ごすことができました。

さて、I部軟式庭球部では、毎年役員会(会長:山本勇(理・物

1966))を行っており、2018年3月31日、ポルタ神楽坂の理窓倶楽部にて、本活動について報告致しました。

引き続き毎年実施してまいりたく、さらに参加メンバーを拡げていくことができればと思っております。I部軟式庭球部に所属していた皆様、ご連絡をお待ち申し上げます。

今回、第3回(2018年2月17日)



記念すべき第1回(2016年1月30日)



全体役員会(2018年3月31日)



関連団体加入14年目を迎える ～理窓会高砂熱学支部～

理窓会高砂熱学支部は、平成17年11月30日に第一回総会を開催して以来、今年で14年目、述べ会員数66名になりました。第一回総会では、塚本理事長、石井理事、弊社社長にご臨席を賜り、約30名の会員が参集して催されました。久しぶりにお会いした先輩方、初めてお会いする同窓の方々などが一堂に会し、懐かしい学生時代の話などで大いに盛り上がりしました。

以降、総会を重ねるごとに、会員の活躍、葛飾キャンパスの近況、弊社と理科大とのコラボレーションなど、理科大と会員各位のこの一年が報告される充実した総会になってきました。特に、新入社員や来期入社予定の学生を招待しての総会運営は、年々若い会員が増え、理窓会高砂熱学支部面々の希望に満ちた明るい未来が感じられるようになりました。

写真は、昨年(平成29年)9月に開催された第十回総会で

の集合写真です。ご来賓の藤嶋前学長からは、支部へのエールと共に、「今日をステキにする科学者の名言」を戴き、科学が面白かった時を思い出しました。高砂熱学は設備工事業を中心とした建設業で、OB/OGの63%は建築系の出身です。これからも、支部活動を活性化して理科大の多様な人材の活躍を支援したいと思います。



新加入関連団体、70団体に



梨花の会(生物研究部OB会)

梨花の会は、学生時代に、皆が同じ釜の飯を食べた思い出の青春時代を過ごしてきた自然を愛する者の集まりで、親睦を目的とします。会員は、昭和28年卒から始まっており約60年の幅を持って構成されます。前半の年代は、湿原の総合調査を行い、後半の年代は、湿原に限らず生物の研究を行っています。現在は現役を退いた会員も多くなっており、やはり皆で集まると生研時代の話題で盛り上がり、会の行事は、会報の発行、親睦会開催、総会・懇親会開催などです。今後は、役員若返りなどが課題になります。

代表者:池森敬二(理・応物1969)



織機理窓会

豊田自動織機内の東京理科大学OB・OG会。会員数177名。

代表者:依田正比古(理・応物1981)



東京理科大学英語研究部OB・OG会

英語研究部は、英会話レッスン、英語によるディスカッション、スピーチコンテストへの参加、ディベートなどを中心に活動していた。1960年代、70年代は今のよう電子機器もなく、教会の牧師さんに学んだりしたもの。

卒業後は技術と英語を生かして仕事をするものも少なくない。年に一度のOB会では現役の学生も参加して交流している。リタイアしてからは、理窓会倶楽部で会うことも多くなった。

代表者:藤井徹(理・物2003)

関連団体募集

関連団体は、No.70織機理窓会で70団体になりました。関連団体に登録ご希望の団体は、理窓会事務室までご連絡下さい。なお、下記のようなインフォメーションも受け付けています。

硬式庭球部からのお知らせ

1958(昭和33)年に設立した我が東京理科大学硬式庭球部は、今年、創部60周年を迎えます。この記念すべき世紀の節目をOB・OG・現役で盛大に祝福するべく、「東京理科大学硬式庭球部創部60周年記念式典」を以下の通り開催致します。

- 記念式典の部 日時:2018/11/24(土) 14:30-17:00
場所:経団連ホール(大手町)
- 懇親会の部 日時:2018/11/24(土) 18:00-20:00
場所:「北海道 八重洲店」(貸切)

■参加費(参加人数により多少の増減があります)

- ・記念式典・懇親会両方参加の方 15,000円
(大学院など在学习中のOB・OGは半額)

参加費は、金額の最終確定後に以下の口座へ振込願います。

振込先:三井住友銀行 築地支店 普通 6624471

リテイカイダイヒョウ カワハラ ヤスカタ

振込手数料は、各自ご負担願います。

参加費の振込みは、2018/10/15までをお願い致します。

■詳細は理窓会HPをご覧ください

<http://www2.u-netsurf.ne.jp/~riteikai/index.htm>

支部だより

北海道 二次会で大学等の話題に花が咲き盛り上がる

《北海道支部》 支部長：伊藤 四郎(理・物1965)
日 時：平成30年5月26日(土)
会 場：ホテル札幌ガーデンパレス

こうよう会の小角様からは父母会の状況や6月に行われる野田の学生さんによるヨサコイの応援についての話があった。懇親会は和気あいあいの中で会員相互の親睦を図り、出席者の近況報告をし、お互いの健康などについて話し楽しい一日となった。記念写真を写し、乾杯でお開きとなった。二次会は同ホテル内のレストランで行われ、11名が参加した。大学・理窓会・こうよう会等の話に花が咲き大いに盛り上がり来年の再会を楽しみ閉会した。



青森 「おもしろサイエンス」に補助金の増額

《青森支部》 支部長：阿保 民博(理工・物1973)
日 時：平成30年7月7日(土)
会 場：ホテルニューキャッスル

平成29年度の活動報告・会計報告があり、青森地区の会員有志が毎年開催している「おもしろサイエンス」が昨年度に引き続き、今年度も特別奨励補助の対象となり、理窓会から支部活動補助金が増額支給されることが報告された。

写真撮影後、懇親会へと続き、阿保支部長挨拶、安盛常務理事乾杯の音頭で、思い出話や近況報告で懇親を深めた。次年度総会開催地である八戸市での再会を約束し散会した。



埼玉 藤嶋昭先生の内容の濃い講演、充実感で満たされる

《埼玉支部》 支部長：長澤 智則(理・化1972)
日 時：平成30年7月1日(日)
会 場：ウェスタ川越 多目的ホールC・D

平成30年度の埼玉支部総会は、7月1日(日)午後2時から、ウェスタ川越において開催された。参加者は84名(ご来賓12名を含む)でした。長澤智則支部長の挨拶に始まり、会務報告・決算・事業計画・予算が全会一致で承認されました。常務理事・吉本成香氏からは東京理科大学の現状について話をいただきました。理窓会新会長・増淵忠行氏から理窓会の組織基盤が強固になりつつある。大学の評価が様々な観点から益々高まってきたという力強い報告を受け、会員一同たいへん誇らしく感じた。

本年3月で学長を退任されました藤嶋昭先生(現光触媒国際研究センター長)をお招きし「科学を楽しく～身のまわりの現象や光触媒を中心に～」という演題でご講演いただいた。先生のご経歴を踏まえながら研究成果を分かりやすくお話しいただ

たり、科学史に燦然と輝く科学者の功績を独自の視点でまとめられたり、はたまた中国の故事との関連をお話しいただくなど、随所に輝きを放つ内容の濃いご講演となった。参加された皆さんは一様に充実感に満たされていた。

集合写真撮影の後、隣りの会場に移動し、盛大に懇親会を行った。ご来賓の皆様からご挨拶をいただいた後、世代を超えた交流が図られた。最後は、全員で声高らかに校歌を斉唱した。来年は、6月30日(日)にウェスタ川越で開催する予定です。



栃木 支部ゴルフコンペの企画で盛り上がる

《栃木支部》 支部長：金子 康法(工・経工1970)
日 時：平成30年6月30日(土)
会 場：栃木グランドホテル

今年は、増淵会長のお膝元での開催となった事もあり、支部総会初参加者に加え、増淵会長を応援すべく、久しぶりとなる支部会員の参加も多く有り活気ある支部総会となった。懇親会では、能面師でもある木村会員の能面披露や同窓歌手祥子さんによる歌披露に加え、一般会員全員から近況報告があった。その中で、増淵会長のお父様が支部長だった頃より、ご無沙汰となっていた前澤会員のユーモア盛り沢山の近況報告が印象的でした。栃木支部では、ゴルフを趣味とする会員

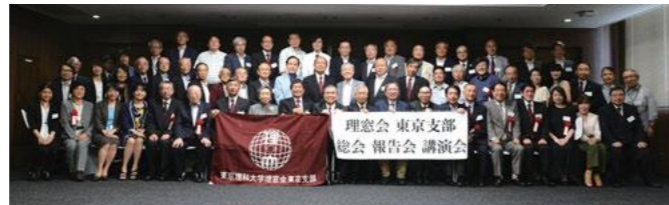


が多い事も発覚。新たに支部ゴルフコンペを企画しようという話題で盛り上がった。

東京 スタンフォード式睡眠で大きな感銘を受ける

《東京支部》 支部長：植木 キク子(理・物1961)
日 時：平成30年5月27日(日)
会 場：神楽坂キャンパス1号館

講演会と講師のプロフィールの案内があり、スタンフォード大学医学部精神科教授、同大睡眠・生体リズム研究所所長の西野精治先生より、演題「スタンフォード式最高の睡眠～究極の疲労回復と最強の覚醒とは?睡眠の質を科学的に解明!」で講演いただいた。太古の文献等々多くのマスのデータに科学的にメスをいれて解明する世界的権威の卓越したプレゼン、その後の質疑で、最近の睡眠に対する病理面への重要性を再認識でき、多数の方々改めて大きな感銘を受けた。



神奈川 教育史の講演で時代の変化の激しさを改めて実感

《神奈川支部》 支部長：細川 秀夫(理・化1976)
日 時：平成30年7月28日(土)
会 場：ローズホテル横浜

支部定期総会が多数の来賓を含めて総勢107名が集い盛大に開催された。総会では新支部長に山下庫太氏(理工・物1971)が第18代支部長に選出された。講演会は神奈川県教育委員、神奈川の教育史編纂委員を歴任している内藤昌孝氏(理・数1964)による「かながわの教育」のテーマで実施した。生徒急増期の高校100校計画や急減期の高校再編計画等の説明もあり、時代の変化の激しさを改めて感じた。懇親会は地区同好会報告、新会員の紹介などがあつた。会場は90歳代～20歳代の同窓の歓談に包まれた。今回の総会は、教育関係者、若手、女性参加者が多く、今後の本支部のさらなる発展を予感させた。



福井 創作落語「理学の志士」を堪能する

《福井支部》 支部長：山下 秀雄(理・物1972)
日 時：平成30年3月3日(土)
会 場：ユアーズホテルフクイ

理科大より本山理事長、理窓会から島崎副会長をお招きし、近畿など近隣の支部長やこうよう会からも参加され32名で開催した。講演会では桂歌助師匠による、理科大の創設期をテーマにした創作落語「理学の志士」と古典落語「替わり目」を堪能した。懇親会は維持会の森野会長の音頭の校歌斉唱からはじまり、この春理科大より参与記を受賞された前支部長の酒井康行氏の挨拶があつた。さらに今回初参加の近畿や三重



の支部長・代議員からのお話もいただき、楽しいひとときを過ごすことができました。

アマノフーズ

フリーズドライ製法の3つの特長

- 1 常温で長持ちするので備蓄や保存に便利!
- 2 具材の色・食感・風味が損なわれにくい
- 3 栄養価が損なわれにくい

The うまみ

うまみが主役のスープできました。

アサヒグループ食品株式会社

enplas

空想だった未来を、もっと身近なものに

株式会社エンプラス

〒332-0034
埼玉県川口市並木2丁目30番1号
Tel: 048-253-3131
Fax: 048-255-1688
<http://www.enplas.co.jp/>

事業内容:
エンジニアリングプラスチック及びその複合材料による各種製品の製造、加工ならびに販売

支部だより



発展する理科大独自の取り組みに耳を傾ける

《静岡支部》 支部長：石井 裕基(理工・電1976)
日 時：平成30年7月14日(土)
会 場：パステリア地中海

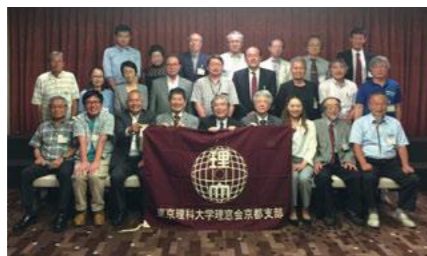
当日は、記録的な猛暑の中開催することができた。本山理事長から大学の現状について、増淵理窓会会長から理窓会活動報告があった。発展する大学独自の取り組みや大学の優れた特色の紹介などの興味深い内容の話に全員聞きいった。懇親会では、参加者全員の近況報告をして頂き会員の新たな進展で盛り上がった。結びには、全員で理科大校歌を斉唱して懇親会を名残惜しく閉会した。



持参した持ち味のある景品の抽選会で楽しむ

《京都支部》 支部長：藤森 廣幸(薬・製1972)
日 時：平成30年7月15日(日)
会 場：ホテル セントノーム京都

総会では、新支部長で元摂南大学薬学部教授による「健康と糖質制限について」の演題で、プチ糖質制限でも健康維持・生活習慣病の改善に役立つと講演した。懇親会ではアトラクションとして、支部役員が持参された持ち味のある景品の抽選会を催し、参加者全員に楽しんで頂いた(財政強化の一環)。なお、記念すべき「東京理科大学 理窓会 関西合同交流活動の軌跡」(関西理窓会連合会発行)の冊子が支部会員に初めて配布された。



篠田教授の講演内容のすばらしさに興奮する

《奈良支部》 支部長：森西 耕一郎(理・物1968)
日 時：平成30年5月19日(土)
会 場：ホテルアジュール奈良

記念講演は、立命館大学情報理工学部篠田博之教授による「心理物理学による視覚研究とその応用」の講演を拝聴した。講演は正に「瞠目する」内容で好評であった。懇親会ではご来賓の方々からスピーチを頂きながら、和やかな雰囲気の中で参加者の懇親・交流や情報交換を行うことが出来た。中でも先の講演の興奮冷めやらぬ中、最後まで多くの参加者が篠田教授を取り囲み質問が後を切らない状況であった。最後に全員で校歌を高らかに斉唱し、近年にない盛会のうちに総会・懇親会を終えた。



文化遺産の彦根城博物館の中での支部総会

《滋賀支部》 支部長：横山 成紀(理・応物1967)
日 時：平成30年6月10日(日)
会 場：彦根城博物館講堂

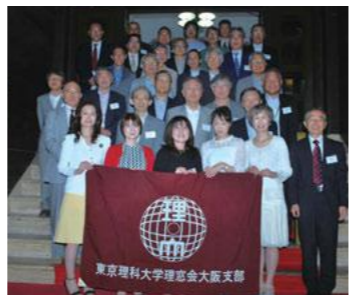
今回の総会は3年ごとの開催の彦根城博物館講堂で行った。「彦根から世界の理科大へ」とのテーマ設定で東京理科大学の本山理事長から「日本の理科大から世界のTUSへ」として講演があった。彦根市教育委員会の鈴木達也氏から「彦根城世界遺産登録について」の講演があった。開会には大久保貴・彦根市長の歓迎の挨拶があった。その後彦根城の築城の意義や彦根藩の文化的な歩みを紹介しつつ江戸幕府で彦根が果たした「開国文化」を検証して、博物館に保存された建築と文化遺産を見学して、彦根キャッスルリゾートで楽しい懇親会となった。



生涯学習を通して地域社会とつながる意義に耳を傾ける

《大阪支部》 支部長：秋山 茂夫(理・応物1972)
日 時：平成30年6月2日(土)
会 場：(一社)中央電気倶楽部

大阪支部総会での今回の講演は「高齢者が動けば社会が変わる」と題して認定NPO法人 大阪府高齢者大学校前会長の佐藤宏一氏(理・化1968)に高齢化社会における生涯学習と学習活動を通して地域社会とつながる意義についてのお話をいただいた。こうよう会や理窓会近隣他府県支部の役員の方々にもご参加いただき総会を盛り上げた。懇親会では、各自近況報告や情報交換などを行い、今年も和やかな雰囲気でお話を聞くことができた。



支部総会を地元新聞に投稿し理科大を知らしめる

《岡山支部》 支部長：三浦 康男(理工・数1971)
日 時：平成30年5月13日(日)
会 場：ピュアリティまきび

支部総会という名称ではなく「岡山坊っちゃん会」の名称で開催して以来、6年が経過した。今年も、昨年同様若い会員の参加をはじめ女性会員の参加もあり、充実した総会となりました。毎年会員によるミニ講演をしているが、今年は総社市商工会議所会頭で本支部副支部長の清水男(理工・工化1975)に「南海トラフ地震・津波「防災カード」「BCP個人カード」について」と題した講演を行った。当日参加者の記念写真とともに、この会の様子を毎年地元の山陽新聞に投稿し、広く東京理科大学の名前を県下に知らせている。



卒業生だより

さまざまな分野で活躍する理科大の卒業生たち。彼らの“今”を紹介します



Freshman
フレッシュマン

企業内同窓会会長訪問記 豊田自動織機、 企業内同窓会立ち上げに82名参加

山田 剛史 (やまだ たけふみ)さん
株式会社豊田自動織機勤務(基礎工・電子応用2013)

私が東京理科大学に入学したのは、2007年4月です。北海道札幌出身であったためか、東京の日差しがとても暑く感じられ、これから続く大学生活に思いを馳せていました。

基礎工学部は最初の一年間、長万部で寮生活を体験します。青春真っ只中の青年にとって大変酷な状況であるにもかかわらず、集まったのはユニークな人達ばかりでした。というよりは、何も無いところから何かを生み出そうと必死になっている姿が、当時の私にとってはユニークに映っていたのかもしれない。人生にしてみればたった一年が私のアイデンティティを大きく変えました。

時はあっという間に経ち、大学四年生で研究室に配属されました。大学の研究活動を通して、私は海外で活躍する技術者に憧れました。東京理科大学の海外支援プログラムを利用して、大学院2年生の夏から5か月間ドイツのロストック大学へ研究員として渡欧しました。今までは全く異なる環境で、頼る相手もおらず、四苦八苦した記憶が今でも思い出されます。

現在、私は株式会社豊田自動織機(愛知県)に勤めています。職場では電動フォークリフトの走行/荷役用モータ制御ソフト開発を担っています。在学中の海外経験のおかげで、欧州案件に就き、国外での活動も臆することなく仕事に向き合っています。

私生活も仕事も慣れてきた頃、同じ大学出身である隣の職場上司と飲む機会がありました。話は理科大トークで盛り上がり、「私:ところで理科大生って、この会社に何人いるのでしょうか?」「職場上司:OB会でも開いてみよっか。」そんな他愛もない会話が、企業内同窓会を立

ち上げるきっかけでした。

何とか名簿を入手した私は卒業生の多さに驚きました。しかし私はOB会を開くにあたって少々冷静でした。全員に声をかけても、せいぜい集まって20%程度だろう。みんな仕事も忙しいし、最初のきっかけ作りとしては十分だ。そう思いながら、事業部毎に幹事を設け全員に声をかけました。

想像とは裏腹にたくさんの方から「参加」のメッセージが届きました。ふたを開けてみると約50%の参加率になっていました。“愛知県で理科大生が集まる!”。とてもわくわくしました。きっと多くの人は大学の現況を知りたいだろうと考えました。

早速、理窓会にコンタクトを取り、大学の資料を少しだけ欲しいが相談したところ、増淵理窓会会長が直々に赴いてくださる運びとなりました。

当日、集まった人数は82名。受付時から理科大の懐かしいトークであふれ、20代~50代までの世代を超えた思い出は、愛知県で大変大きな華を咲かせました。

企業内同窓会は大盛況に終わり、私もこの会を開けた満足感でいっぱいになりました。しかし、ここで終わらせてはもったいない。せっかく同じ学び舎を卒業した御縁ですから、これからも理科大の繋がりを大事にしていきたいと思えます。

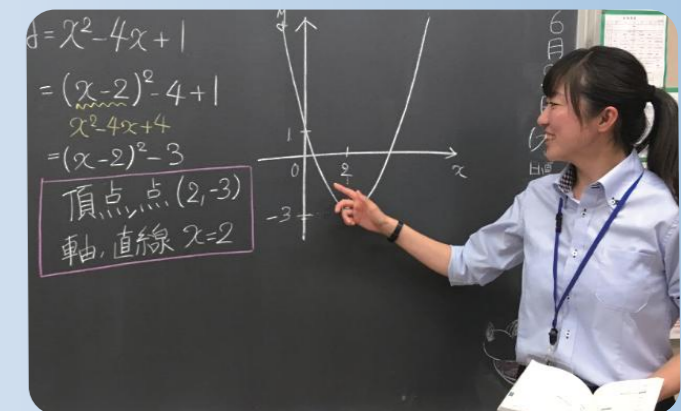


いつでも、全力疾走

工藤 ひかる (くどう ひかる)さん
東京農業大学第二高等学校 教諭
(理・数2018)

今年度から教員生活を始め、6月で3ヶ月が過ぎようとしています。私は群馬県にある東京農業大学第二高等学校で働いています。大学時代、毎日のように教職の先生のもとへいき、模擬授業を見て頂いていました。先生方の熱いご指導やともに励みあいながら頑張った仲間たちのおかげで念願の高校の教員になることができました。

現在、高校1年生の担任をしています。右も左も分からない自分に何ができるだろうと考えた結果「生徒のことを第一に考え、一緒に歩もう」と思いました。一緒に掃除をし、毎日学習帳でやり取りをしています。少しずつ、生徒と信頼関係が築け、クラス全員が同じ方向に向かうようになりました。一日一日が色濃く、



元気いっぱい過ごしている生徒たちをみていると幸せで教員になってよかったと感じています。教員生活はまだ始まったばかりですが、支えて下さっている周りの先生方や、生徒たちへの感謝の気持ちを忘れず、生徒たちが自分の夢へと大きく羽ばたけるように、これからも一緒に走り続けます。

Middle Standing

がんばる同窓生

フランス芸術文化勲章「シュヴァリエ」叙勲

山名 善之

(やまな よしゆき)さん

東京理科大学理工学部建築学科教授
(工・建1996)

本学理工学部建築学科山名善之教授が5月10日、ローラン・ピック駐日フランス大使よりフランス芸術文化勲章シュヴァリエを授与されました。フランス芸術文化勲章は1957年に創設され、フランス文化通信省より与えられる勲章です。本賞は「芸術・文学の領域での創造、もしくはこれらのフランスや世界での普及に傑出した功績のあった人物」に授与されるもので、日本においては、顕著な芸術的功績を残した日本人に加えて、日本におけるフランス文化の紹介・普及に功績のあった人物が叙勲の対象になっています。

山名教授は、本学工学部第一部建築学科卒業、香山アトリエ入所後、国立パリ・ベルヴィル建築大学で修士課程、パリ大学パントオン・ソルボンヌ校で博士課程を修了し、2002年に本学の講師に就任しました。これまでにヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展特別審査員賞や第3回西洋美術振興財団賞「学術賞」などを受賞し、近現代建築、近代計画都市を対象に調査・研究を行ってきた功績が今回の受賞につながっています。

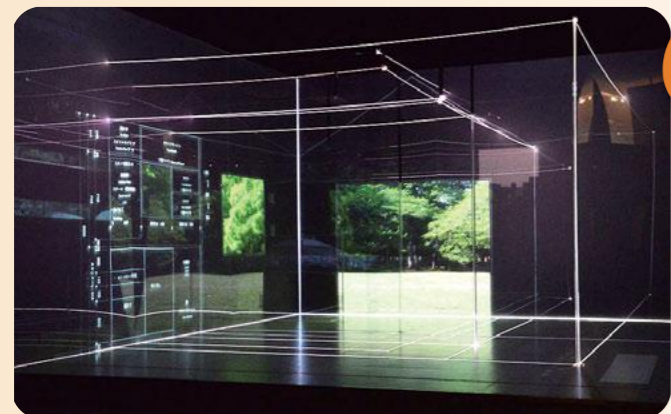


又、上野のル・コルビュジエの作品、国立西洋美術館の世界遺産登録には、山名教授が多大の尽力を果たしています。

山名先生の叙勲を祝う会が5月26日(土) 理窓会倶楽部で開催されました。出席者は工学部建築学科教員11名、理工学部教員7名、築理会(建築学科校友会)20名、野田建築会4名、計42名参加の和やかな祝宴の会となりました。



理窓会倶楽部での山名先生叙勲を祝う会
(2018/5/26) 建築学科・築理会
北村副学長より乾杯のあいさつ



森美術館(東京・六本木)「建築の日本展」インスタレーション(2018年)

東京理科大学工学部建築学科卒業後、コロムビア大学大学院で建築デザインを学びニューヨークで活動開始。2003年の越後妻有アートトリエンナーレでアーティストに選出され帰国。2006年ライゾマティクス設立。アート・コマースの領域で立体・インタラクティブ(双方向)の作品や近年では都市開発や製品開発など、様々な分野を横断してものづくりをしている。広告賞を始め数々の賞を受賞。2018年グッドデザイン賞 副審査委員長。

【本人よりのコメント】

私達ライゾマティクスが今やっているインタラクティブな演出や表現は20年前には存在しなかった仕事である。仕事は時代とともに変化し、無くなる仕事新しく生まれる仕事の新陳代謝を繰り返して産業はできている。私がコロムビア大学を卒業した直後

Middle Standing

がんばる同窓生

時代を先回りする仕事

齋藤 精一 (さいとう せいいち)さん

ライゾマティクス代表取締役(工・建1999)

の2001年に当時住んでいたNYで起こったアメリカ同時多発テロ事件をきっかけに建築を諦めた私は、2016年あたりからやり始めた建築と表現・テクノロジーが一体化する時代がまさか来るとは思わなかった。これから来ると言われている第4次産業革命も私は確実に来ると現場で感じている。インターネット登場以来様々なものが繋がり、横断することは当たり前になり、今まさにその「次」が来ようとしている。未来という不明確な言葉をあまり使わない私にとって、時代を先回りし、分野を横断し、新しい時代をつくる「先回り」が今全ての分野で問われているような気がする。テクノロジーは魔法ではなく、今までの産業が作り出してきた様々なものと同様「道具」として再定義する時代はもう来ている。



理窓会倶楽部のご自身の作品の前で

小学生の時は先生について風景画を多く描きましたが、中学以来、定年まで絵画作品作りのために絵筆を取ることは殆どありませんでした。その意味で私の画業はまだ始まったばかりです。絵画は、私にとって、物理学の研究と同様に創作活動の一つです。初めは絵を描くことによって専門の物理学の研究の息抜きになるかと思っていましたが、全く期待外れで、作画で体力的に休まることはありません。私にとって、作画作業は物理の論文作成と全く同じです。こんなわけで、2足の草鞋(わらじ)を履く者にとって多くの作品を残すことは出来ないで、自分がどうしても描きたいテーマを精選することになります。物理学の論文はオリジナリティーが問われますが、その意味で私の絵画にも同様の気持ちを課しています。定年後に風景画ではなく、人物画を選んだのは、人物の表情の豊かさの他に、歴史、文化、宗教など裏面にも多様性があると思ったからです。心の琴線に触れるテーマを選ぶことが出来れば作業を続ける気持ちが持続できます。油彩に関しては先生がご高齢で亡くなられて以来、私の作画技法は手探りで、まるで新しい物理学に向かう時の測定実験の機器作りと何ら変わりありません。それでも人物のデッサンは先生に付いて20年近くやってきましたので、これが私にとって唯一の基本です。私の人物デッサンも、一般の画学生が学ぶものとは異なるかもしれませんが、時間をかけて表情を描き込む事を意識しています。作品を観て下さる方がそこから希望や勇気を得られて、なにより安らぎを感じて下されば目標達成です。

本誌編集部から物理の話も書くように言われましたので、少しだけ触れます。本来の創作活動である理論物理学では、50年以上も誰も解けなかった「クローンの長距離問題」をドイツに留学していた30歳代からライフワークと決めていましたが、定年間際にやっと解けました。これで画業に専念できると安堵したのもつかの間、今度は福島原発事故と放射性汚染水問題の発生です。

Senior

物理学と絵画

シニア

尾立 晋祥 (おりゅう しんしょう)さん

東京理科大学教授

現名誉教授(理・物1963)

受賞歴 2011年 新協展初出品 新人賞
2016年 新協展 新協美術会会員推挙
2017年 国際芸術批評家賞受賞

そこで専門の3体問題の研究の延長として、核力の長距離力の発生を発表し、これを基に放射性廃棄物処理の理論作りに目下専念しています。いまは2足の草鞋を履いて、互いの相乗効果を体感しながら創作活動を楽しんでいます。



尾立先生のこと

中西 繁(工・建1969, 画家)

尾立先生とは奇遇な出会いでした。かねてから知人の女流画家から理科大学の先生でデッサン会に来ておられる方が居るということを聞いてすぐに、「坊っちゃん賞」の候補に推薦したい!とお電話頂いたのです。理科大博士会の会長をされているとかで、その翌年の正月明けには授賞式があったのです。その頃、葛飾新キャンパスの壁画を依頼されて制作中でした。僕にとっては2つの幸運が別々に同時に来た感じでした。その後の尾立先生との交流は公募展会場、僕の絵画研究会、理科大学内の行事などで何度となくお会いし、昨年は、私が主宰している「伊豆の国アートビレッジ」で「やさしい物理学」の講演をお願いしました。先生は高知県のご出身で、僕は江戸っ子三代目なのですが、なぜか高知県観光特使をこの7年くらい仰せつかっておりまして、関東高知県人会でばったりお会いしたり、ともかくとても親密にさせていただいております。過日、銀座の第1回個展では初日のパーティーにお邪魔して挨拶もさせて頂きました。絵は緻密な描写力、日本情緒を得意とされています。物理学の論文を英語でパンパン書く学者とは別な顔とテイストをお持ちと拝察しております。



葛飾キャンパスの壁画

東京理科大学同窓会会員の皆さまへ

「待ってた人が、ここにいた。」

自然体でいられるのは二人の価値観が似ているから。お互いの思いを大切に、価値観の近い方を丁寧に紹介しています。

■ 芙蓉グループ会員会社の皆さまを中心とした、安心で確かなメンバー層です。

■ 成婚率業界トップクラス。3,000名を超えるご結婚実績です。

結婚

ご入会資格 東京理科大学同窓会会員の皆さまとご家族、及びそのご紹介による方々もご利用いただけます。

お申込金 申込金は80,000円(税別)2年間有効で、月会費等の費用は一切かかりません。

芙蓉ファミリークラブ

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-1-1 ホテルグランドパレス5F
【営業時間】AM10:00~PM5:00 【定休日】火曜、祝日、年末年始(土曜・日曜オープン)
TEL: 03-3264-1931 E-mail: info@fuyou-fc.jp

詳しくはホームページをご覧ください。

芙蓉ファミリークラブ

http://www.fuyou-fc.jp

携帯電話からは http://www.fuyou-fc.jp/m/

夢の次世代電池 レアメタルフリーナトリウム電池

駒場研究室

東京理科大学理学部第一部応用化学科
駒場 慎一 教授(早稲田大学理工学部1993)

- 専攻分野：電気化学 / 無機化学 / 固体化学
- 研究分野：次世代蓄電池 / エネルギー変換材料 / 化学センサー



誤の結果、私たちの研究室は、2009年にナトリウムイオン電池の負極に用いる炭素材料の改良を重ねることで、世界で初めて100回以上の安定的な充放電が可能になることを発表しました。その後もいろいろな大学や企業で追従研究が行われ、リチウムイオン電池に匹敵する長期充放電が可能なナトリウムイオン電池の報告が数多く発表されるようになり、現在では世界中でナトリウムを利用する電池の研究が活発に行われています。私の研究室でも、世界の研究開発の激しい競争の中で、大学院生とともに研究に取り組み、今後の研究に大きな手応えと可能性を感じています。現在では、JSTの戦略的国際共同研究プログラムに採択されドイツ、スペインの研究仲間と研究に取り組み、また国内外の企業とも共同研究を活発に行っています。

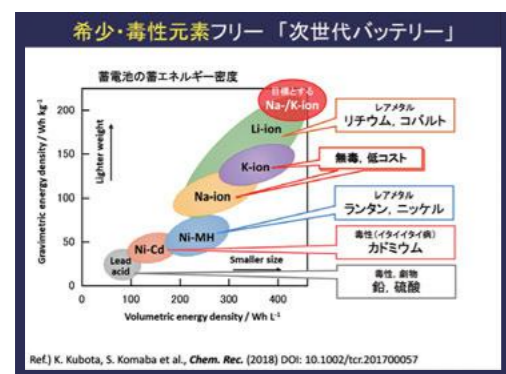
将来的な原料供給の不安からスタートした新しい蓄電池への挑戦。

今、私たちの暮らしになくならないスマートフォンやモバイルPCには、リチウムイオン蓄電池が搭載されており、その性能の高さからハイブリッド自動車にも利用されています。そして今後は電気自動車(EV)への利用や風力・太陽光発電等の自然エネルギーの安定利用のために、さらに大型蓄電池の開発が期待されています。しかし、そうしたニーズにリチウムイオン蓄電池が本格利用されるには、まだ多くの課題が残されています。

例えばEVの場合、現状では一充電あたりの走行距離がわずか200-300kmほどで、さらにフル充電に1時間以上かかります。この課題を解決するには蓄電池のエネルギー密度を高めることが重要で、新たな電極材料を開発する必要があります。そしてさらに、リチウムイオン電池に必要なリチウムやコバルト、銅といった希少資源はすべて南アフリカや南米から輸入しており、将来的な原材料の確保に不安があります。そこで私たちはリチウムの代わりに資源の豊富なナトリウムを用いて、次世代のニーズに対応できる新しい蓄電池を開発しようと挑戦をはじめたのです。しかし、私がナトリウムイオン電池の研究をはじめた頃は、ナトリウムは、リチウムに比べると原子量で約3倍、イオンのサイズも大きく負極にイオンが入り込まず充放電されないという欠点もあり、蓄電容量を考えれば、当時は「リチウム以外の材料で電池を作るのはナンセンスだ」という考えが主流でした。

リチウム全盛の時代に見えてきたナトリウムイオン電池の未来。

そんなリチウムイオン電池の研究が全盛だった当時、私の心を突き動かす出来事がありました。それが、2004年に九州大学が発表したナトリウムと鉄を組み合わせた電極の研究結果です。コバルトの代わりにリチウムと鉄を組み合わせた酸化物では電池性能は高められない。一方、ナトリウムと鉄は電極として相性が良く、将来的な資源不足の不安もありません。私は「これなら“ナトリウムイオン電池なんて無理”という今までの常識を覆せるのではないかと確信を持ったのです。そして、多くの試行錯誤



の結果、私たちの研究室は、2009年にナトリウムイオン電池の負極に用いる炭素材料の改良を重ねることで、世界で初めて100回以上の安定的な充放電が可能になることを発表しました。その後もいろいろな大学や企業で追従研究が行われ、リチウムイオン電池に匹敵する長期充放電が可能なナトリウムイオン電池の報告が数多く発表されるようになり、現在では世界中でナトリウムを利用する電池の研究が活発に行われています。私の研究室でも、世界の研究開発の激しい競争の中で、大学院生とともに研究に取り組み、今後の研究に大きな手応えと可能性を感じています。現在では、JSTの戦略的国際共同研究プログラムに採択されドイツ、スペインの研究仲間と研究に取り組み、また国内外の企業とも共同研究を活発に行っています。

今、日本で最新のサイエンスとテクノロジーを同時に学べ、さらにユニークな研究ができる最高の環境が理科大の強みだと思います。

現在、研究室がある神楽坂キャンパスの研究棟には30ほどの化学系の研究室が集まっており、分析、合成、光、工学、環境、バイオなど基礎から応用まで幅広い研究が行われています。同じ建物内にさまざまな分野の研究室が集まっていることで、私たちは他分野の研究結果をいち早く知ることができ、「あの研究は、自分の研究にも応用できるのではないかと感じれば、すぐにその研究室の先生に話をもちかけることもできます。さらに理科大内では、理学系や工学系の多様な分野の専門の先生たちが連携しながら共同研究を行っており、私自身もいくつかのテーマで異分野の先生方と協力して研究を進めています。私の研究室では、学生27名と外国人ポスドク1名、技術員1名、企業からの研究員1名、私を含め教員3名が所属し、それぞれのテーマで非常に質の高い研究をしています。世界の研究者や企業から注目されるような研究ができたことは私の誇りであり、私の研究室は今、ナトリウムイオン電池の研究では世界一だという自負を持っています。



Na電池試作品

卒業生コメント 池内 一成 (理・化2013/総化研・総化2015)

パナソニック株式会社 テクノロジーイノベーション本部
駒場研究室ではNaイオン電池の正極材料の研究を行い、新規電池のため、当時は先行研究も少なく大変さもありましたが、試行錯誤を繰り返してメカニズムを解明してくことは大変にやりがいがありました。またメンバーとディスカッションすることも多く、お互いを高めあうことができる環境でした。現在の研究所における業務においても、研究室で新しいことにチャレンジしたという経験が非常に活かされています。

新たな抗がん剤を全合成で創りだす!

椎名研究室

東京理科大学理学部第一部 応用化学科
椎名 勇 教授(理・応化1990)

- 専攻分野：有機化学
- 研究分野：天然物化学 / 有機合成化学
- 研究テーマ：
1. 抗がん剤の人工合成
2. 光学活性化合物の立体選択的合成
3. 環境低負荷を実現する触媒反応の開発

2015年 文部科学大臣表彰 科学技術賞 (開発部門)受賞



品として最適な化学構造にデザインすることもできます。
全合成の分野では、MNBAを用いて抗がん作用を持つ有機化合物を合成する研究に力を入れています。
がんの抑制に新手法(タンパク質輸送ブロッカー M-COPAの全合成)

私たちが全合成を行ったM-COPAは、細胞内のタンパク質輸送を司るゴルジ体の働きを制限します。ゴルジ体によって活性化しているがん細胞にこの化合物を与え輸送経路を遮断し、がんの増殖を抑制しようという試み(図1)が国内外の研究機関で進められています。椎名研究室では動物実験にM-COPAを使用するため、その大規模製造法の開発に取り組みました。

人類が医薬品として利用する物質のほとんどは、炭素を基本とした有機化合物からできていて、複数の化学反応を組み合わせることで合成されます。しかし、目的の化合物を作るまでに何段階もの反応を行わなければならない場合、時間と手間がかかるうえに、膨大な量の廃棄物が出るため、環境に負荷がかかります。

椎名研究室では、医薬品を高効率で生産するための反応手法の研究を行っています。

その成果として2002年には、抗生物質や抗がん剤の生産効率を劇的に高める**新たな脱水縮合剤「2-メチル-6-ニトロ安息香酸無水物(MNBA)」を開発**しました。

脱水縮合反応とは、有機化合物から2つの水素原子と1つの酸素原子を一度に取り除き、2つの物質を連結させる構造変換法で、その反応を起こさせる試薬が脱水縮合剤です。脱水縮合反応は、古くから医薬品の基本骨格を組み上げる際に利用されてきましたが、従来の方法では触媒に酸を用いたり、高温で処理するなどの過酷な反応条件を必要とするため、原料となる物質を破壊してしまうなどの問題がありました。



東京理科大学の椎名研究室では1999年の研究室発足以来、“世界最速の脱水縮合反応の発明”を目指して3年間、徹底的に化合物や反応条件の探索を行い、ついにMNBAの開発にたどり着いたのです。その後MNBAは、新型抗生物質や分子標的抗がん剤、糖尿病治療薬の合成などに幅広く活用され、全世界で2,000件を超える使用実績が報告されています。

椎名研究室において、この「反応手法の開発」と両輪をなすのが「全合成」の研究です。

全合成とは、複雑な分子構造をもつ天然由来の化学物質などを、最小単位である原料レベルから人工的に合成することです。例えば、土壌に生息する細菌から抽出される希少な化学物質の中には、抗がん作用を示すものがあります。このような物質を人工的に合成できれば、薬の安定生産に結びつくだけでなく、副作用を抑えるなど、医薬

我々は7つの連続する不斉炭素を有するM-COPAをグラムスケール以上で供給できるように各工程を検討し、実際に鍵反応である不斉アルドール反応、分子内Diels-Alder反応、MNBA脱水縮合反応等の有機合成法を駆使しての大量合成を可能にすることができました。全合成された化合物を用いてがん細胞への効果を検証する実験が行われ、もはや既存の抗がん剤では治せないと考えられていた耐性化したがんでさえも、その増殖が食い止められる等の顕著な成果が論文として続々と報告されています。工業利用までの展開を見越して合成法を設計した点が、今回の目的を達成できた要の部分と考えています。

YouTubelによる研究成果公開も行っていますので、「M-COPA YouTube」、「椎名研究室 YouTube」などで検索してみてください!

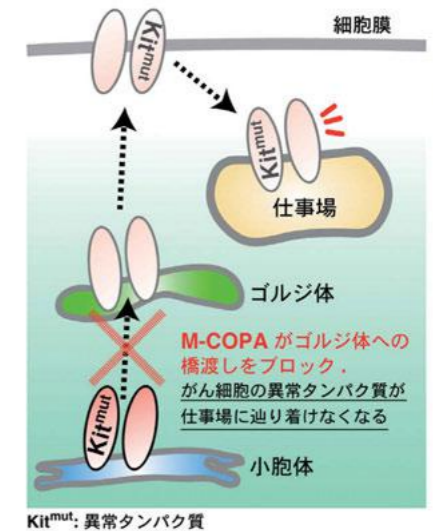


図1 M-COPAががん細胞の増殖を抑制するメカニズム (図1: 東京理科大学元講師小幡裕希先生作成)

卒業生コメント 田崎 靖崇 (理・応化2015/総化研・総化2017)

富士フイルム株式会社/有機合成化学研究所
椎名研究室で私はM-COPA類縁体の合成研究を行いました。どのような形にすると抗がん剤としてより良く働くかを調べるためです。複雑な構造の化合物を正確に作る精密合成や脱水縮合を含む様々な反応を検討しました。試行錯誤の末に最適な条件を発見したときは震えるほど嬉しかったのを覚えています。研究で見つけた素材の生産を企業規模に拡大する現在の業務においても、学生時代のこれらの経験が下支えとなっています。

北海道150周年記念「おしゃまんべ毛がに祭り」で頑張る 基礎工学部長万部キャンパスの理大生



木幡町長による、開会の挨拶

今年も6/30～7/1に長万部町毛がに祭りが開催されました。この毛がに祭りでは、長万部町から依頼された毛がに祭り本部スタッフ約20名を東京理科大が学生にボランティア募集をして協力しており、かに玉入れや、白線引き、餅投げ、出演者の案内等を担当しました。またボランティア部からは12名が参加して町の商工会婦人部の出店催し物(お蕎麦屋等)に協力しました。下の写真は、ボランティア募集参加学生が毛がに祭りにかき玉入れ競技を手伝う様子と集合写真です。

右はお蕎麦屋さんで、働くボランティア部のみなさん。東京理科大生のボランティアは町の方たちから毎年期待され、又感謝されています。一方学生は町の方たちと触れ合うことが出来、大変有意義な社会体験ができます。

更にお祭りの催し物としてよさこいソーラン部が参加して観客の皆様にご覧いただき楽しんでいただいております。左はよさこいダンス部のみなさん、女子15名、男子12名、週3回の練習で初舞台に臨みました。



練習3ヶ月とは思えない演舞!

秋企画展のお知らせ

創成期の大型商用コンピュータに触れ、本学のコンピュータ教育の原点を振り返る

～「パラメロンとリレー式計算機」ー日本発コンピュータの開発ー～

場所▷東京理科大学近代科学資料館

日時▷10月28日(日)～12月1日(土)

1960年製のリレー式計算機FACOM138Bが、富士通の川崎工場で稼働中。その計算機のプログラムを現役の学生が作り動かすことに取り組んでいます。学生たちは、計算してみたい問題はあっても処理言語の未発達さに手を焼き、プログラム開発当初は途方に暮れていましたが、応用数学科で数値計算を研究している学生達も加わり、どうにか進行中です。この結果も含めて、電子計算機以前のリレー式計算機や

第一世代コンピュータとしての国産のパラメロン計算機など創

成期のコンピュータを紹介し、私立大で初の大型計算機FACOM201導入をした本学のコンピュータ教育の原点を振り返ります。



パラメロン計算機の前でスタッフと記念撮影



本学学生が 第13回朝日アマチュア囲碁名人戦全国大会で優勝

2018年6月30、7月1日に日本棋院 東京本院(東京都千代田区)で行われた第13回朝日アマチュア囲碁名人戦全国大会において、本学工学部工業化学科1年(1部文化会囲碁部)の栗田佳樹さんが優勝しました。栗田選手は1回

戦シードで2回戦から登場。決勝は同じく招待出場の早稲田大4年、星合真吾選手(23)との大学生対決。持久戦模様となったが、終始手厚く打ち進めた栗田選手が徐々に差を広げ、黒番6目半勝ちしました。さらに、今月28、29の両日に静岡県伊豆市で行われた第13期朝日アマチュア囲碁名人戦三番勝負で、第12期アマ名人の専修大4年、大関稔さん(23)との三番勝負に臨んだ結果、2勝1敗でアマ名人のタイトルを奪取しました。(朝日新聞記事より)

第1回 東京理科大学物理学園賞 表彰式を開催(6/13)



推薦者、増淵理窓会会長と石原氏

の名誉を高め、発展に寄与した方に対し、その功績を称えることを目的として今年度創設されました。

新井 史人(あらい ふみひと)氏(工・機1986卒)

名古屋大学 未来社会創造機構 教授
研究分野はロボット工学及びマイクロ・ナノメカトロニクス。文部科学大臣表彰 科学技術賞(研究部門)など受賞多数。

石原 安野(いしはら あや)氏(理2・物1998卒)

千葉大学 グローバルプロミネント研究基幹 准教授
南極点の深氷河を利用したアイスキューブ検出器を用い、宇宙ニュートリノを観測する研究を推進。第37回猿橋賞を受賞。

金子 邦男(かねこ くにお)氏(東京理科大学1964入職)

元本法人事務職員(本学柔道部師範)
本学柔道部において、在職中から現在まで50年もの長きにわたり、本学学生を指導していただいた功績は大である。

6月13日(水)、東京理科大学物理学園賞表彰式が行われ本山理事長から受賞者に賞状が授与されました。本賞は、本学の卒業生(本法人が設置していた大学含む)及び専任教職員の退職者のうち、本法人の

國友 浩(くにとも ひろし)氏(理・物1984卒)

京都大学基礎物理学研究所 准教授
研究分野は超弦理論。2016年に発表した「Complete action for open superstring field theory」は、素粒子物理学分野の飛躍的な進歩の端緒として期待されるものであり、この論文により2017年に第2回日本物理学会 論文賞を受賞。

故 浜田 知久馬(はまだ ちくま)氏(薬・製薬1987卒)

研究分野は医薬統計学。医薬品の適正使用のための情報を創造することを目的として、科学的かつ効率的な医薬研究の統計学的方法論を提唱。SASユーザー会功績賞、論文賞を受賞。



左から新井、石原、金子、國友の各氏



飛んだ、あっ、残念!! 鳥科のみなさん感動を有難う!

2018年第41回 鳥人間コンテスト開催される

今年も、7月28日(土)琵琶湖で鳥人間コンテストが開催されました。台風12号の影響で土曜日だけの開催となり、東京理科大学からは滑空機部門に鳥人間サークル鳥科(葛飾・神楽坂キャンパス)が参加し、今年は二番目の飛行で朝7:20に飛び立ちました。残念ですが22.9mの結果に終わり、昨年実績318.72m(6位)を更新することは出来ませんでした。一年間準備して来た皆さんの努力の結果は私たちに感動を与えてくれました。滑空機の難しさも少し解りました。早朝にもかかわらず、こうよう会、理窓会の約80名の皆様が集合下さり、熱心な応援を琵琶湖に鳴り響かせました。

鳥人間サークル鳥科

代表:荒巻智集(基礎工・材料工3年)

パイロット:磯谷貴太(工・電工3年)

部員数:52名

荒巻代表(左)とパイロット磯谷さん(右)



理窓会、こうよう会の皆さん



鳥人間サークル鳥科TORICAの一年 滑空機飛行写真

毎年7月末に行われる鳥人間コンテストを軸に動きます。秋に新体制に移行→春に新入生加入→夏の大会後に引退の流れです。大会終了後の秋から設計を始め、年が明けると頃から約半年をかけて機体を製作し、大会前にテストフライトを行い、本番を迎えるわけです。



飛行前の待機の皆さん

鳥科の部員構成

現在、鳥科には葛飾キャンパスと神楽坂キャンパスの理学部・工学部・基礎工学部から52名の部員が所属しています。結構な大所帯なんです。驚くべきはその男女比!なんと10人も女子がいるんですよ!理科大の中ではかなり女子が多い分類に入ります。部員の所属している学科も機械工学(M科)を中心に、多種多様です。



理科が好き。
だから、伝えたい!

生き物の秘密を解き明かそう!
生態展示 オオクワガタ

もくねんさんと謎のインク



6月16日(土)・17日(日)、川崎市の東芝科学未来館、ラゾーナ川崎プラザ、ミュージアム川崎シンフォニーホール音楽工房で、東京理科大学サイエンスフェア「未来研究室～科学へのトビラ～」が行われました。

このイベントは東京理科大学125周年記念学生行事の一環として2006年から開催されており、学生団体主催で小・中学生を対象にさまざまな科学体験をしていただくものです。13回目の開催となる今年は、2日間で約10,000人の皆さまにご来場いただきました。来場者は「簡単に作れるスーパーボール」「顕微鏡で微生物を見てみよう」などさまざまな実験を体験されました。「スーパーボールを家でも作ってみたい」「2日間来ました」「また参加したい」などの感想がありました。

数学を楽しもう!
ルービックキューブ



未知との遭遇!～星との出会い



地球をエンジョイ! 宇宙研究部



模型飛行機を作ろう



ロボットと触れ合おう!
二足歩行ロボ



Formula Racing

機械工学研究会

Formula Racing
レーシングカーに乗ってみよう!

東京理科大学 維持拡充資金(第二期)募金のお願い

～ 世界で最も魅力のある大学を目指して ～

《 募集要項 》

○ 募金目標額	目標額: 2億円 (1年あたり)
○ 募金目的	● キャンパス維持拡充支援 ● 奨学金支援 ● 教育研究推進支援
○ 税法上の扱い	税法上の優遇措置(寄付金控除)の適用が受けられます
○ 寄付金額	1口5万円 1口未満でも有難くお受けいたします

皆様のご支援、ご協力をお願いいたします

インターネット寄付受付中

<http://www.tus.ac.jp/bokin/>

《 お問い合わせはこちらへ 》

東京理科大学 募金事業事務局
〒162-8601 東京都新宿区神楽坂 1-3
TEL: 03-5228-8723 (ダイヤルイン)
FAX: 03-3260-4363
e-mail: bokinjigy@admin.tus.ac.jp

東京理科大学
オープンカレッジの
ご案内

東京理科大学では、社会人が生涯学び続ける機会を広く学内外に提供し、社会全体の発展に寄与することを目的とし、社会人教育センターを設置しています。

現在、多くの方々には20歳代までに種々の教育機関において知識や技術を習得し、その間に身に付けたことを活用し、社会人として活躍されています。しかし、社会状況の変化や種々の技術の進展は、年毎に早くなっており、長寿化に伴い、長い期間に亘って働く時代になると言われています。このような時代において個人の能力をより有効に発揮していくためには、社会人として身に付けておくべき知識や技術を、常にアップデートしブラッシュアップしていくことが必要です。

本センターでは、オープンカレッジをはじめ、実務的で社会人として有用な知識や技術を習得できる「社会人教育・リカレント教育」の場を提供し、生涯現役であり続けたい方や社会人としての知識、見識を高めたい方、豊かな教養を身に付けたい方を対象とした有意義な企画・講座を準備し、「人生100年時代」に相応しい社会人教育の拠点を目指しています。

カリキュラムの特徴

■ ビジネス講座

経営理念・志・戦略全般や思考的要素を学ぶ「ベース領域」、経営資源である「ヒト領域」「モノ・コト領域」「カネ領域」に加え、理科大ならではの「情報領域」が5本柱となる領域です。なお、モノだけを対象とするのではなく、コトづくりの重要性も踏まえて「モノ・コト領域」とし、双方を扱います。いずれの領域でも、主に役員・管理職上級層を対象とした「Executive & Managementクラス」と、若手管理職および管理職志望層を

対象とした「Leader & Staffクラス」、その両方のクラスにまたがる「共通」の講座を揃えています。

主な講座

- リーダーが持つべきビジョン構築
～未来予測手法を用いた自身のキャリア構築
 - 人を動かすための攻めのコミュニケーション
～聞き手の目線で考える
 - 経営リーダーのための組織論入門
～現実に展開できる組織理論、そして組織を動かすリーダーとは。
 - 経営工学シリーズ(デザイン思考を再び身近に、モノの流れを科学する、トヨタシステムと経営工学)
 - EC3.0
～先端的な知見を学び未来の「E.C」「ビジネス」を考える
- ※ほとんどのビジネス講座は、飯田橋セントラルプラザ2Fにて開講します。



■ 一般教養講座

「人生100年時代」を見据え、生涯現役であるために、ビジネス講座だけではなく、「サイエンス」「ライフアップ」などを加えた教養講座も開講しています。経営者にとっては、教養はビジネスにおける意思決定の際の決断力つまり覚悟の源となります。ま

た、中堅管理職にとっては、教養は物事を深く考える上での土台を形成することに繋がります。東京理科大学オープンカレッジでは、ビジネスの世界を深めるのはもちろん、これからの自分の将来を豊かなものにする様々な講座を開講しています。

■ トップマネジメントセミナー

本カレッジでは、世界の動向を見据えたマネジメントのあり方をお話いただける最上の講師陣をお招きし、「トップマネジメントセミナー」を開催することといたしました。ビジネスの

第一線で活躍されている多くの方々にご参加いただけることを期待します。

【日程】 09/27(木)…トップマネジメントとしての心構え

丹羽 宇一郎 氏 (公益社団法人 日本中国友好協会会長/元 伊藤忠商事株式会社社長)

10/04(木)…米国経済と日本の対応

岡本 行夫 氏 (マサチューセッツ工科大学国際研究センターシニアフェロー)

10/11(木)…世界経済について

ロバート フェルドマン教授 (東京理科大学経営学研究科技術経営専攻 教授/モルガン・スタンレーMUFJ証券株式会社シニアアドバイザー)

10/18(木)…日本のトップマネジメントのあり方

富山 和彦 氏 (株式会社経営共創基盤 代表取締役CEO)

10/25(木)…働く人を大切にしたい人間力の経営

櫻田 厚 氏 (株式会社モスフードサービス 代表取締役会長)

東京理科大学オープンカレッジ事務局

■ お問い合わせ先

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-10-1 セントラルプラザ2階
TEL 03-5227-6268 FAX 03-5227-6263 E-mail manabi@admin.tus.ac.jp

お申込みはWebサイトからと、郵送・FAXよりお選びいただけます。
詳しくは、本学オープンカレッジのHPをご覧ください。

HP <http://www.tus.ac.jp/manabi/>



「第110回新年茶話会」のご案内

今年も同窓並びに東京理科大学の教員で叙勲・褒章を受けられた方々、および坊っちゃん賞を受賞される方々をご招待し、祝賀を兼ねて開催いたします。新年早々で恐縮に存じますが、ご出席賜りたくご案内申し上げます。

日時 平成31年1月5日(土) 1. 祝賀会：14時30分～15時30分 2. 懇親会：15時30分～17時30分
 場所 ホテルメトロポリタンエドモント(東京都千代田区飯田橋)
 形式 会費 7,000円(受賞者記念品代を含む) 立食パーティ

ご出席の方:同封の返信ハガキで11月30日(金)までにお申し込みください。
 ※理窓会ホームページからの申し込みも可能です。

平成30年度(第21回)理窓会「坊っちゃん賞」の公募

次の通り公募いたします。

1. 「坊っちゃん賞」は東京理科大学の名声を高めることに多大な寄与・貢献をした同窓生に理窓会から贈られる賞です。
2. 東京物理学校および東京理科大学に在籍または卒業された方。
 他大学出身者であっても本学で学位(修士、博士)を取得された方も対象になります。
 (山口東京理科大学、諏訪東京理科大学を卒業された方も対象になります)
3. 自薦、他薦を問いません。
4. 応募締切日は、平成30年10月26日(金)。
5. 平成31年1月5日開催予定の第110回新年茶話会で顕彰します。

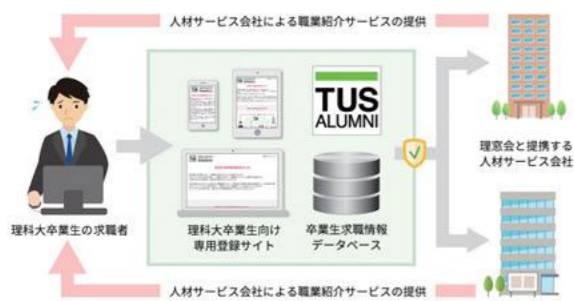
詳しくは理窓会ホームページをご覧ください。 <http://tus-alumni.risoukai.tus.ac.jp/>



理窓会が卒業生の再就職を支援するサービス

① 再就職支援サービス

人材サービス会社と特別に契約し、ご求職の方に対してプロの手法による職業紹介サービスを提供しています。



② 人生設計応援セミナー

ミドル・シニア世代の方を対象に昨今の「働き方」の多様化を正しく学ぶことで、より豊かなライフプランを選択いただけるようセミナー※をプロとともに開催します。詳しくはウェブサイトをご覧ください。※まずは都内での開催を予定しています

TUS Alumni Association
 東京理科大学 校友会 理窓会
再就職支援窓口
http://risoukai.com/career_support



③ 再就職オンライン求人広場

理窓会会員による、会員向けの求人情報を募り、求職希望の方は直接エントリーができる仕組み(広場)をウェブにて構築しています。

■各種お問い合わせ先(メールにて受付) career_sopport@alumni.tus.ac.jp



(株)ブライダルは東京理科大学同窓会の皆様の「結婚」を応援します。

40年の実績

(株)ブライダルは今まで法人福利厚生、官公庁、各大学会報誌などで、数多くの方々の結婚のお話をさせて頂いております。少子化問題にも「結婚」という形で社会に貢献できる企業を目指しており、特に東京理科大学同窓会の皆様には平成16年より「東京理科大学コース」を設け、多くの方にご利用頂いております。この「同窓会誌」を見たとおっしゃってくだされば、会員の皆様は登録料100%OFFにてご入会いただけます。

東京理科大コース

登録料 **100%OFF**

- ブライダルコース ¥226,800▶¥194,400etc.※
 - エクセレントコース ¥388,800▶¥356,400etc.※
- ※価格は会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です。

ホームページ <http://www.bridal-vip.co.jp>
 株式会社 **ブライダル**
 ☎0120-415-412
 Network 東京・湘南・豊橋・名古屋・大阪
 東京本社 〒163-0528 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル28F

東京理科大学のルーツを求めて……【東京物理学校 前夜編②】 ～日本の物理学はなぜフランス語ではじまったか・設立者たちの出会い～

東京理科大学 維持会会長 森野 義男(理・化1978)

初回は、時代背景を含め、文部省設置と東京大学の開校までを駆け足で説明してきた。今回はもう少し掘り下げ、創設者たちにも触れる。

仏語(フランス語)物理学ができたころ

東京物理学校は日本で初めての理学士19名と在籍者2名によって創設された学校である。創設に参加した志士たちは、いずれも東京大学理学部仏語物理学を卒業した20歳代の若者であり、仏語で物理学を学んだ若き学徒であった。お雇い外国人であるフランス人から仏語を学ぶために集められ、志士たちはまず仏語を習得することから始まった。

政権は明治新政府へと変わり、鎖国に終止符を打ち外国に門戸が開かれていった。幕末から明治維新にかけて日本はフランスとの外交が主流であり、近代化を迫られた軍隊もフランス式が先行していた。東京大学に仏語物理学が誕生したのも、このような背景があったに他ならない。

創設者たちの出会い

明治新政府は、語学をはじめとする洋学の知識を持った人材の育成、登用が急務であったため、開成学校にお雇い外国人を

お雇い外国人教師	
理学部 仏語物理学科 物理学校の伝説より	
マンジョウ (Mangeot) 明治 8年 5月～明治12年5月 数学	
デーブスキー (Dybouski) 明治10年11月～明治13年2月 物理学、数学、数学	
ベルソン (Berson) 明治 9年 6月～明治13年7月 物理学、数学、数学	
仏語物理学科の学生卒業とともに解任	
理学部 数学・物理学及び星学(英語)	
メンデンホール (Mendenhall) 米 明治11年～明治14年	
ユーンイング (Ewing) 英 明治11年～明治16年 電磁気学	
山川健次郎 明治8年 5月エール大学卒業後帰国 明治 9年 1月 東京開成学校教授補嘱託 明治10年 東京大学 理学部助教 明治12年 7月 東京大学 理学部教授	ボアソナドの給与 (明治13年～明治20年) 月 1,250円(宿料含) 年 15,000円 大久保義典 著 『ボアソナド』経典社

教師を迎えて授業を開始した。左図は当時のお雇い外国人教師の例であるが、外国人教師に支払われる報酬がとても高いものであった。

そのため新政府は日本人の教師育成に力を注いだものと推測される。1873年4月、開成学校は大学南校と改称されるが、南校に入学した貢進生の中には学力の不足等で退学を余儀なくされる者が相当数いたため、一時閉鎖した。優秀で志しがある学生に限り引き続き南校での修学を許可することにし、南校の質的向上を目指した。この貢進生の中に創設者となる小林有也、桜井房記、鮫島晋、千本福隆、高野瀬宗則、中村恭平、信谷

定爾、谷田部梅吉の8名がいた。1872年8月3日、文部省は学制を公布した。これに伴い、南校は第一大学区第一番中学と改称された。上記の8名は引き続き進学をした。新たに入学してきた名村程三(のち玉名に改姓)、三守守、保田棟太と机を共にした。後に赤木周行、加瀬代助、桐山篤三郎、豊田周衛、中村精男、難波正、三輪桓一郎、和田雄治が学ぶことになった。

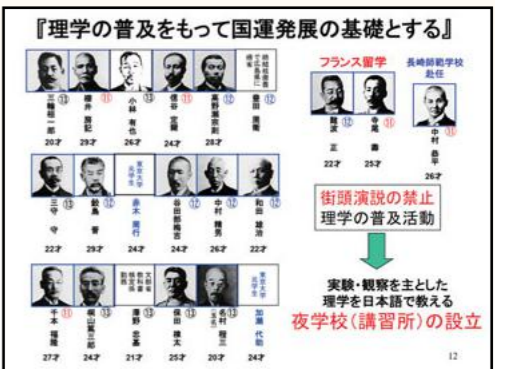
同年8月には開成学校から外国語による普通教育課程が切り離され、新設の東京外国語学校に移された。東京外国語学校には、後の東京物理学校初代校長となる寺尾壽と澤野忠基、玉名程三が入学した。

1874年、開成学校は東京開成学校と改称した。玉名は引き続き、東京外国語学校で学んだが、他は全員東京開成学校に進学した。その後、東京開成学校は廃止した仏語諸芸学科に代わり同年8月には仏語物理学が新設した。創設者たちは新設した学科に進学した。

1876年1月、旧会津藩士での中に東京物理学校設立に深く関わった山川健次郎が東京開成学校の教授補となり教壇に立った。山川はアメリカ人教授のピーテル・ベダルの助手を務め、主に実験を担当した。また、授業も聴学(音に関する学問)、熱学、光学、電気学、電磁気学など週3時間ほど担当した。ここで東京物理学校の創設者たちと運命的な出会いを果たしたのである。

1877年、東京開成学校は東京医学校と合併して東京大学と改称し、法学部、文学部、理学部、医学部の4学部を置いて発足した。派遣していた留学生の相次ぐ帰国により、教授となるものが増え「日本語・日本大学院」へ転換するきっかけとなった。東京物理学校の創設者全員が東京大学理学部・仏語物理学科へ進学した。1879年7月、山川健次郎は日本人として初めて物理学講座の教授に就任した。

東京物理学校の創設者たちは夢を語りながら、順次東京大学理学部・仏語物理学科を卒業していった。



紫外線やまぶしさから眼を守る!

Transitions® 調光レンズ

長時間、眼を紫外線にさらしていると、眼病リスクが高まります。眼に入る光を自動的に調節することで、目の疲れ、ストレスを抑えます。



メガネで出来る健康生活

メガネドラッグ

近隣店舗はこちらから
<http://www.meganedrug.com/>



本誌「理窓」発送条件に関する、重要なお知らせ

理窓会は「理科大today」から新「理窓」へとここ13年間住所の判明している卒業生の皆さま全員(約12万人)と在学生(約17000人)に送付してまいりました。その目的は大学と理窓会の最新情報のお知らせ、また理窓会の活性化と卒業生の連携強化です。皆様には冊子「理窓」の価値を十分ご認識頂いたと考えています。更に理窓会HP機能の充実、そしてこの度理窓会の予算管理面での見直しにより、発送条件を以下の様に変更致しますので宜しくご認識下さる様お願い致します。

①
会費納入者は年3回(1月5月9月)

②
会費未納者は9月号のみ

③
在学生は年3回(1月5月9月)

◆◆ 理窓会HomePageのお知らせ ◆◆

冊子「理窓」を紙でなく、電子媒体でご覧いただける様対応を続けてまいりましたが、昨年より、HPで「理窓」(過去冊子含む)を閲覧が可能となっており、更に東京理科大学情報、理窓会、関連団体、全国の支部情報がご覧になれます。

● Homepage <http://tus-alumni.risoukai.tus.ac.jp> ● facebook <https://facebook.com/risoukai.tus/>

2018年9月～2019年3月 理窓会主要行事予定

第13回 東京理科大学ホームカミングデー	2018/10/28(日) 神楽坂キャンパス
第10回 坊っちゃん科学賞発表会	※坊っちゃん科学賞発表会は9:00～12:30
第15回 理窓会会長杯ゴルフ大会	2018/11/10(土) アスレチックガーデンゴルフ倶楽部
第110回 理窓会新年茶話会	2019/1/5(土) ホテルメトロポリタンエドモント
第20回 坊っちゃん賞授賞式	

2018年9月～2019年3月 理窓会支部行事予定

東京支部	秋季大会	9月23日(祝・日) 13:00～	神楽坂キャンパス 1号館17階
広島支部	総会	9月30日(日) 14:00～	ホテルセンチュリー21広島
兵庫支部	総会	9月30日(日) 11:30～	兵庫県民会館 7階 亀の間
宮崎支部	総会	9月30日(日) 11:40～	ひまわり荘(宮崎市)
三重支部	いがうえの語り部ツアー	10月14日(日) 10:00～	伊賀流忍者博物館・上野城など
秋田支部	総会	10月20日(土) 15:00～	ホテルパールシティ秋田竿燈大通り
静岡中部支部	総会	10月20日(土) 17:00～	静岡第一ホテル
茨城支部	総会	10月21日(日) 10:00～	ホテルテラスザスクエア日立
和歌山支部	総会	11月 4日(日) 12:00～	ホテルグランヴィア和歌山
長崎支部	総会	11月11日(日) 11:00～	ひらきや(大村市)
福岡支部	総会	11月23日(祝・金) 13:00～	
熊本支部	総会	11月23日(祝・金) 予定	
群馬支部	総会	11月24日(土) 15:00～	ホテルラシーネ新前橋

発行者 東京理科大学校友会(理窓会)
会長 増淵忠行(理・物1968)

編集委員会 委員長/近藤明(工・工化1973)
委員/大岩昭之(工・建1968)、齋藤常男(理・物1971)、前田光男(理・化1981)

理窓会事務局 E-mail: risoukai@alumni.tus.ac.jp ホームページ: <http://tus-alumni.risoukai.tus.ac.jp> fb: <https://facebook.com/risoukai.tus/>
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂2-6-1 PORTA神楽坂7階 Tel:03-3260-0725 Fax:03-3260-4257

表紙写真:大岩昭之(工・建1968)